

病院・医療機関における 労務リスク管理とトラブル対応のポイント

～ ハラスメント、院内暴力、メンタルヘルス・・・トラブルから職員を守るために ～

開催にあたって

職員の高度な専門性に支えられている病院や医療機関では、長時間労働や交替勤務、離職率など、労務管理体制の難しい局面を抱えています。医療従事者がその能力を十分に発揮し、質の高い医療サービスを提供していくためには、適切な労務管理が必要であり、トラブルを未然に防ぐ現場での実践的な対応が必要となっています。しかしながら労務管理に関わる知識は広範囲にわたり、体系的に学ぼうとすると短時間で習得できるものではありません。

そこで本セミナーでは、病院や医療機関での豊富な指導を行っている講師により

- ハラスメント、●院内暴力、●メンタルヘルス、●労務リスク

という喫緊の問題となるケースが多いテーマに焦点を絞り、日常業務ですぐに役立つ労務管理の実践力を強化していただきます。

日程	2016年2月1日(月) 9:30～16:30 (6H)
場所	ホテルグランドヒル市ヶ谷 西館3階「ペガサス」(〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町4-1 Tel: 03-3268-0111)
対象	医療機関の理事長・院長・事務長・安全管理部門・管理部門の方々
参加料(1名)	★医療従事者(病院職員)または日本経営協会会員: 21,600円(消費税等含む)
	★上記以外の方: 27,000円(消費税等含む)

お申込み
お問い合わせ先

一般社団法人日本経営協会 東京コンベンショングループ(担当:依田) 〒151-8538 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8

TEL (03) 3403-8615 FAX (03) 5413-4327

<http://www.noma.or.jp/hs/iryoken/>

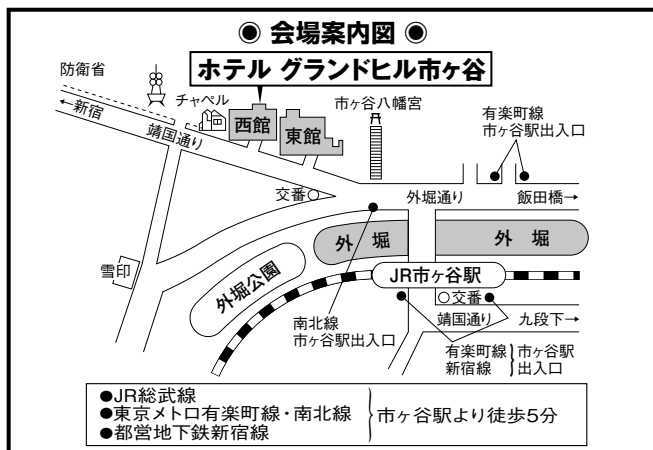
申込み方法

① Webによる申込みの場合は下記から「医療福祉研究会」のご案内をクリックしてお申込みください。

<http://www.noma.or.jp/hs/iryoken/>

② FAXによるお申込みの場合は、下段の参加申込書に必要事項を記入の上、送信ください。

- ◆お申込み後、参加券と請求書をお送りいたします。不着の場合は必ず電話にてご確認ください。
- ◆お申込み後のキャンセルは開催3営業日前からは参加料の30%、開催当日は100%となります。
- ◆参加料は銀行振込にて1月28日(木)までにお支払いください。(振込手数料は貴団体でご負担願います)
- ◆昼食は用意しておりません。各自でおとりください。
- ◆参加者が少数、天災等の場合は、中止、延期をさせていただく場合があります。



キ-リ-ト-リ 線

お申込みはWeb <http://www.noma.or.jp/hs/iryoken/> または、FAXどうぞ!

FAX (03)5413-4327

参加申込書 『病院・医療機関における労務リスク管理とトラブル対応のポイント』				05054
団体名(病院名)		○印を 付 き た だ い さ い		・日本経営協会 会員 ・医療従事者(病院職員) ・一般(上記以外)
所在地 〒□□□-□□□□			TEL	
連絡担当者氏名	連絡担当者所属	E-mail	FAX	
参加者名	所属・役職	E-mail		

セミナー申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。

①参加券や請求書の発送等の事務処理 ②今回、ご案内しております「病院マネジメントスクール」等、「医療福祉研究会」のご案内:②がご不要な場合には□にチェックして下さい。 □不要

プログラム

2月1日(月) 9:30~16:30 (6H) (質疑応答を含む)

病院・医療機関における労務リスク管理とトラブル対応のポイント

株式会社 MCS 代表取締役
社会保険労務士法人 MCS 特定社会保険労務士 森 義隆氏

講義内容

1. 医療機関と人事労務

- (1) 病院と就業規則
- (2) 労務トラブルを未然に防ぐ
- (3) 労働法の基礎知識
 - ① 労働時間の基礎
 - ② 年次有給休暇
 - ③ 労働保険・社会保険
 - ④ 採用・退職・解雇

2. 医療機関とハラスメント

【事例演習】これってセクハラ？・・・

一般事例で考える「セクハラ」

- (1) セクハラの変義
- (2) 医療機関特有のセクハラ

【事例演習】これってパワハラ？・・・

一般事例で考える「パワハラ」

- (1) パワハラの変義
- (2) パワハラの変域と段階

【事例演習】ハラスメントが発生した時に対応すべきポイントは？

- (1) ハラスメントが及ぼすマネジメント上の問題点
- (2) 二次被害を防ぐコミュニケーションとは

3. 院内暴力から職員を守る

【事例演習】自称「患者様」による暴力とその対策

- (1) 暴力をふるう(入院)患者とその心理的背景
- (2) 医療機関が取るべき対策・・・組織対応とは
- (3) 公共的使命を帯びる医療機関とモンスター
ペイシエントについて

4. 医療従事者に潜むメンタルヘルス不調と労務管理

【事例演習】心に傷を負ったと言って看護師が休職

- (1) 医療従事者のメンタルヘルス不調
- (2) メンタルヘルス不調と管理職の役割

- (3) 休職、復職と組織を守る就業規則
- (4) 組織と管理監督者には安全配慮義務がある
・・・管理職が注意すべきポイント

5. 労務リスクとそのマネジメント

- (1) 医療機関における管理職教育のあり方
- (2) 医療機関に関する労働法の改正とそのポイント

6. 今後予定される労働法の法律改正

- (1) 国会審議が予定される
「労働時間削減(労働基準法改正)」
～CSR、WLB、TM、安全配慮義務について～

森 義隆(もり よしたか)氏

【略歴】

同志社大学 法学部卒業後、朝日生命保険相互会社入社、本社企業保健管理部(企業年金)、営業責任者を経験、その後富士火災海上保険にて本社企画部、損害賠償部門責任者を経て、森労務管理事務所を設立、現在に至る。生損保時代には、生命保険講座、損害保険講座でそれぞれ協会長、社長表彰を受ける。

【資格】

特定社会保険労務士、FP、キャリアコンサルタント、年金アドバイザー、認定生命保険士(生命保険外務大学終了)、損害保険特級代理店

【公職】

全国社会労務士会連合会常任理事、千葉県社会保険労務士会会長、千葉県労働審議会部会長代理等

【講師】

社会保険大学校講師、市町村アカデミー講師

【顧問先】

信用保証協会、病院、歯科医院を中心とした保健衛生業、芸能人事務所、学術団体、人材派遣会社、教育研修行、医療関連出版社、製造、自動車部品メーカー、レストラン、運輸など50社

【病院関係研修実績】

岡山済生会病院、野村病院、日本大学附属練馬光が丘病院、玉川病院、JA新潟中央会(病院事務長対象)、JA埼玉、横浜市立大学、千葉県小児医師学会、千葉県薬剤師会、東京臨床心理士会、順天堂大学付属病院浦安病院

【その他研修実績】

総務省、厚生労働省、人事院、旧社会保険大学校、日本年金機構、東京都、福岡県、市町村アカデミー、全国社会保険労務士連合会等クレーム対応研修。(ハードクレーム、悪質クレーム)の実績多数。